

みんなでつくる
西川町産業振興複合施設



“つなぐ・つながる” 場所ができるまで



地域を支えるものづくりの
プロフェッショナルたちが
新たな挑戦に臨んでいます

FIELD REPORT

FIELD REPORT

私が現場監督を担当します！



たかなし てつや
高梨哲也 さん
升川建設株式会社
建築部 次長

雪をとかすほどの情熱で。

よく建物をつくることは人を育てることに例えられます。何も無いところから完成させた建物を引き渡す際は、わが子を巣立たせるような感慨深いものがあります。今回の建物は難易度が高いだけでなく気候的にも困難が続きますが、すべてに情熱を持って取り組みますので、ぜひ完成を楽しみにしてください。

現場レポート

厳しい冬の寒さにも負けずに
工事を進めています。

西川町にとうとう本格的な冬がやってきました。いち早い施設のオープンを目指して、降りしきる雪の中でも作業に勤しむ現場の方々には感謝しかありません。どうかみなさんも工事の安全を願いつつ応援していただけたらと思います。



・おしらせ・

NEW

第7回ワークショップ
を開催しました！

合計21名の参加者が施設の利用ルール策定に向けて議論しました。またイベント時に使える折り畳み式のスタンドや、西山杉からつくる樹木布の活用方法についてもたくさんのアイデアが生まれました。次回は実際にスタンドを組み立てたり樹木布を染めたりするDIYワークショップを開催予定です。どうぞ期待ください！

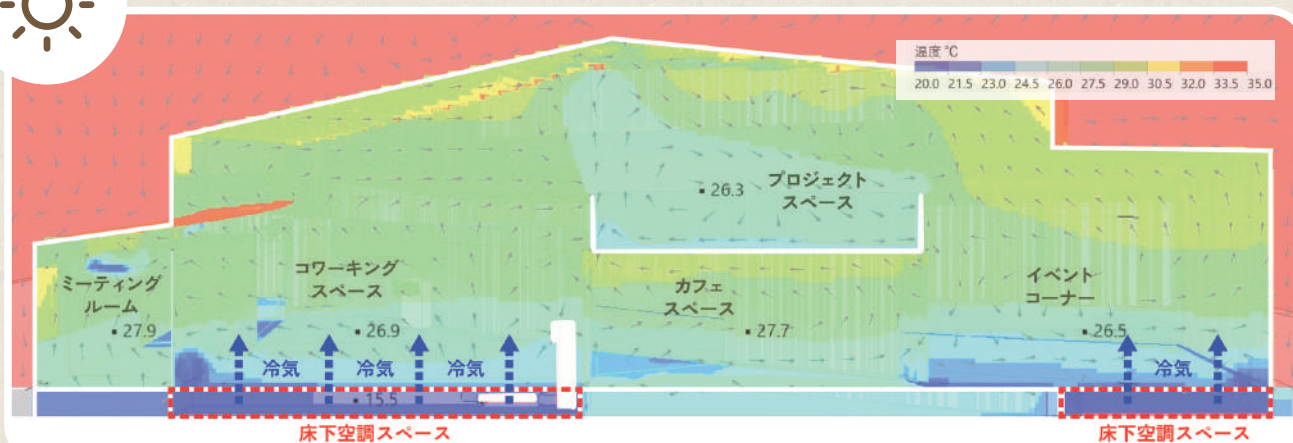


“やんばい”な 空間をめざして

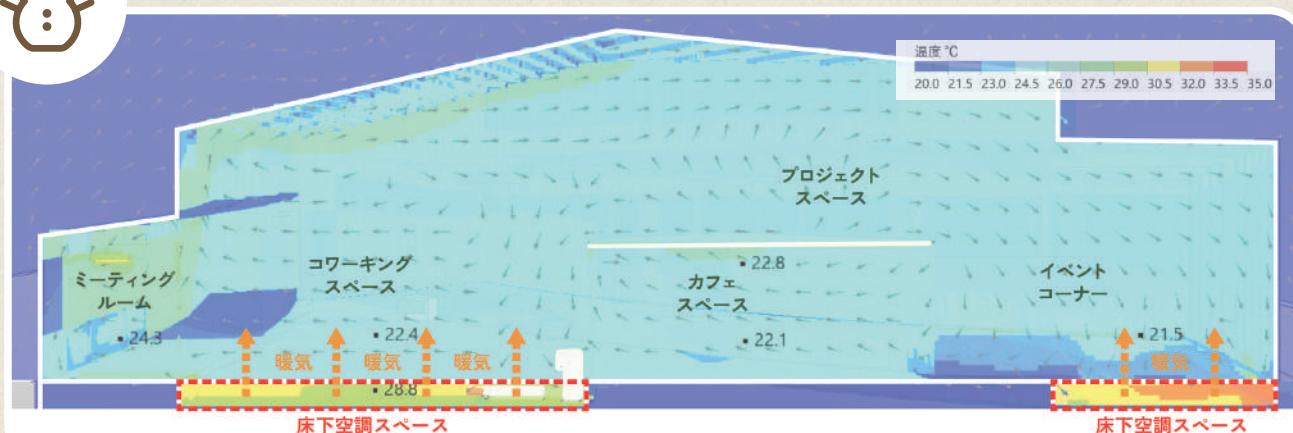
暑い夏も寒い冬も快適に過ごせる空間をつくるために、室内の温熱環境に関するシミュレーションを行いました。この建物では床下に空調スペースを設けて床面から冷気や暖気を吹き出す方式を採用することで、大きく開放的な空間の中で人がいる居住域を集中的に空調します。



真夏の冷房時 外気温 35.1°C、日射熱と内部発熱を最大とした最も不利な状況を想定



真冬の暖房時 外気温 -4.2°C、日射熱と内部発熱は0とした最も不利な状況を想定



こんな人とつながりました！



私は建築環境を研究しています！



たかせ こうぞう
高瀬 幸造 さん

東京理科大学創域理工学部建築学科 講師

空気の流れを見える化する。

この建物ではCFD (Computational Fluid Dynamics=数値流体力学) という空気や熱の流れを3次的に解析する手法を使って、空調能力や断熱性能の妥当性を確かめながら設計を進めました。高い天井の空間を効率的に暖冷房できるようにするため、適切な位置に空調の吹出口や吸入口を配置しています。目に見えない空気や熱を見える化することで、建物を利用する人々が一年中快適に過ごせるための工夫を考えました。